

コラボレーションカードの活用例

区分	学年	教科	単元	時期	ねらい
小	高学年	総合	「好き」は未来の仕事になる？ 郷土愛×キャリア教育	通年	青森県の地域資源を生かして働く人々の取り組みから、地域の魅力と仕事とのつながりを学ぶ。自分の「好き」を起点に将来の仕事や地域との関わり方を考え、友だちとの対話を通して自分なりの生き方を主体的に探究する。

時間	学習活動 (主な発問と予想される生徒の様子)	指導上の留意点
1時間 導入 10分	第1部：青森県の魅力を発見しよう 1. 青森県の有名なものについて考える。 ○「青森県の有名なものには、どんなものがあるでしょう。」 ・りんご ・ねぶた ・せんべい汁 ・三社大祭 ・マグロ ・神社仏閣 ・景色 2. 「みんなのボード：青森県」に提出し、考えを共有する。 ○「みんなの考えを並べてみると、どんなことに気が付きますか。」 ・こんなに たくさん あるんだ ・田舎だと思っていたけど すごい ・青森県と考えると難しいけど、 自分の住んでいる市 のことだと考えると簡単だった。 3. 「食べもの」「森林」「雪」の資料を見て、発見した青森県の魅力をオクリンクに記録する。 ○どんな魅力を発見することができましたか。 ・収穫量・漁獲量が 日本一 の食べ物がたくさんあること ・青森県の森林面積は 県土の66% であること ・青森市が 世界で最も 雪の降る都市であること	(スライド1) ◆食べもの、気候、自然、祭り、観光など、様々な視点から考えを引き出す ◆提出先「ボード：青森県」を事前に設定しておく。 ◆青森県の魅力を、「素敵なおとこ・人に伝えたいところ」ととらえ、考えを共有する場とする。 (スライド2～11) ◆青森県の食べもの・森林・雪について知ること、青森県の魅力を再発見するきっかけとする。
展開 ① 10分	第2部：青森県で働く人について考えよう 4. 「青森県で働く人」について考える。 ○「青森県で働くとするとなんna仕事がありますか。」 ・警察 ・医者 ・コンビニ ・市役所 ・教員 ・ファストフード ○「その中で青森県にしかない（だからこそある）仕事は、ありますか。」 ・ りんご 農家 ・ どこの県も同じ ・ 地元 のスーパー・商店 ・ 青森県にしかないもの を売っている店 5. 「青森県の魅力を仕事にする人」について考え、「みんなのボード：はたらく」に提出し、考えを共有する。 ○「農家・伝統を守る・ホテルや旅館で働く」など、様々な仕事がありますが、なぜこの仕事をしていると思いますか。」 ・青森県の 魅力をたくさんの人に伝えたい ・青森県のことが 好きだから	(スライド12～13) ◆青森県にしかない仕事と限定した発問をすることで、青森県の魅力を発信することが仕事になっていることを発見させる。 ◆提出先「ボード：はたらく」を事前に設定しておく。 ◆青森県で働く人に焦点をあてることで、青森県の魅力や自分の好きなことを仕事を通して伝えたいという思いに触れさせる。

時間	学習活動 (主な発問と予想される生徒の様子)	指導上の留意点
展開 ② 20分	第3部：自分の「好き」から仕事について考えよう 6. 青森屋について知る。 ※青森屋は、青森県の祭りや方言などの文化を楽しむことができる温泉宿であり、スタッフも「青森県の魅力をたくさんの人に伝えたい」という思いをもって「おもてなし」を行っている。 7. まずは、「食べもの」を例に、これからの活動の見通しをもつ。 8. 気になるテーマを1つ選び、スタッフの紹介動画を見る。	(スライド14) ◆青森屋のホームページを使って内容を補足する。 ◆青森屋を具体的な事例として取り上げる。 (スライド15～17) (スライド20～21) (スライド24～25) (スライド28～29) ◆自己紹介①②を視聴し、それぞれ役割は違うけれど、自分の「好き」が今の仕事につながっていることをつかむ。
終末 5分	9. 「どんな仕事をしているか」「子どもの頃の経験」と「現在の仕事」のつながりを考え、発表する。 ○「青森屋のスタッフは、なぜこの仕事をしているのでしょうか。」 ・好きだから ・子どものころからの夢だから ○「子どもの頃の『好き』や経験は、今の仕事とどのようにつながっているでしょう。」 ・好きなことが仕事につながっている。 ・子どもの頃の経験が仕事に生かされている。 ・自分の得意なことを使って、人を喜ばせることができる。 ・「仕事」は自分のためだけではなく、誰かの役に立つものでもある。	【評】 地域の魅力を知るとともに、これを生かして働く人々の取り組みを知り、地域の魅力と仕事とのつながりについて多面的に考えている。 (発表・観察)
	授業によりつけられる力 「地域の魅力を発見し、その魅力を日本や世界、他の地域と比較するなどして分析する力」 「自分の考えを文や絵・写真などを使って1枚のスライドにまとめる力」 個別の学び 地域の現状や課題を、多角的な視点から捉え直している。 地域の魅力や良さを、他者に伝えるための工夫（発信方法の工夫）をしている。 活用のポイント ・考えを伝え合う場面ごとに、カードが準備されているため、カードを作成したら共有する場所「みんなに ボード：〇〇〇」を事前に設定しておくこと。 ・全体で共有しない内容については、提出BOXに提出させること。 サポートおすすめポイント ・ねらいの設定により、全学年、様々な教科・領域で学習することができる教材です。 ・郷土愛とキャリア教育の両方の視点から、授業者が設定した価値にせまることができる教材です。	

時間	学習活動 (主な発問と予想される生徒の様子)	指導上の留意点
2時間目 導入 20分	第4部 「私ならどうする？」 ～青森県の魅力を伝える『おもてなし』を考えよう～ 1. 自分が伝えたい青森県の魅力を伝える「おもてなし」「いつ」「どこで」「誰に」「どんな方法で」を考え、オクリンクで企画カードを作成し、「みんなのボード：ことば・生活・伝統」に提出する。 2. 友達の企画を見て、コメントしたり、友達からの意見をもとに企画を改善する。 ○「友達のアイデアを取り入れると、もっとよくなりそうなところありますか。」 ・おもてなしの相手をよく意識しているところ ・魅力がよく伝わる工夫を考えているところ	◆「青森県の魅力を紹介する」だけでなく、「相手が楽しむ・体験する・心が動く」という視点をもたせる。 (スライド18～19) (スライド22～23) (スライド26～27) (スライド30～31) ◆提出先「ボード：ことば・生活・伝統」を事前に設定しておく。 ◆「おもてなし」企画を作成することで、好きなことの魅力を伝えることを仕事にするというイメージをもたせ、展開へつなげる。 (スライド32)
展開 15分	第5部 「私の『好き』×『仕事』」 ～未来の自分を考えよう～ 3. 自分の「好き」「好きなことの魅力」「魅力×仕事」について考え、カードを作成し提出BOXへ提出する。 ○「私の『好き』って何だろう？」 ・絵を描く・歌う・スポーツ・生き物・ゲーム・人と話す・料理・写真・コンピュータ など ○「なぜ好きなのか」「どんなところが楽しいのか」「人にどんなよさを感じてもらえるか」を考える。 ○その好きなことを生かして、誰かの役に立つにはどうしたらよいだろうか？	◆まとめ動画を視聴しこれまでの学習を振り返る。 (スライド33・34) ◆①自分の「好き」、②その魅力、③「魅力×仕事」でできそうなこと、という3段階で考えさせる。 ◆全体で共有するのではなく、提出BOXに提出させることで、他の人を気にせず、自分の考えを深めさせる。
終末 10分	4. 今日の学習を振り返る ○「今日考えた『好き』は、未来の自分の仕事や、誰かの役に立つことにつながるでしょうか。」	【評】 自分の「できること」や「したいこと」を理解し、その魅力を伝えることを将来の仕事と結びつけて考えている。 (オクリンクカード)
	授業によりつけられる力 「自分の好きをどのように将来の仕事に結びつけるかを考えるキャリアプランニング能力」 「多様な人々の意見を聞き、自分の考えを伝え、協力しながら社会に参画する力」 個別の学び 「地域の魅力を発信しようという思いをもって、企画づくりに取り組んでいる」 「地域の魅力発信と自分の好きを「仕事」にするための将来の生き方や進路を考え、自分の歩むキャリアを主体的に設計している」	